

様式 6・様式 7 における提出書類注意事項及びチェックシート

- 必要記載項目がすべて埋められている
- 提出した症例はすべて中等度以上の歯周炎である
(中等度歯周炎の基準は「歯周病の診断と治療の指針 2007」・「歯周病の検査・診断・治療計画の指針 2008」日本歯周病学会編 等を参照)
- 様式 6 に正しい診断名が記載されている
- 「現病歴」についてきちんと理解した上で記載されている
- 用語や略語は「歯周病学用語集第 2 版」に記載してあるものを使用している
- 様式 6 の治療経過が様式 6 サンプルを参考にして時系列で記載されており、歯科衛生士が担った治療内容が十分に記載されている
- 様式 6 にメンテナンス (SPT) に移行した年月日が明記されており、移行した根拠についても記載されている
- 歯周組織検査表 (様式 7) はすべての診査項目が埋められており、測定値が 0 の場合ももちろん記載されており、サンプルのように検査日や BOP についても記載されている
- 全ての症例はメンテナンス移行後 1 年以上経過しており、メンテナンス時に明らかな炎症所見を認めない
- 学会指導医または認定医に提出資料を精査してもらい署名 (自筆) 捺印を受けている
- 初診時、メンテナンス時の口腔内写真および X 線写真は鮮明できちんと対比することができる
- アルバムに症例番号、撮影年月日がきちんと記載され時系列で見やすく作成されている (アルバム提出者のみ)

※その他、「口頭試問を受ける方への注意事項及びチェックシート」と重複します。
不備のないように、併せて確認してください。